

3. 学生相談室活動報告

1) 個別相談状況

平成25年度の学生相談室の相談体制は、専任カウンセラー2名、非常勤カウンセラー1名（週2日5時間ずつ）、兼任カウンセラーは人文社会科学部の1名の心理学教員（週1日90分）であった。

平成25年度の来談者は332名、のべ来談者数（相談回数）は1833名であった（24年度334名／1704名）。1人あたり平均5.5回の相談を重ねたことになる。1回の平均面接時間は約48.3分であった（専任カウンセラー分のみ）。

主要な相談統計を表1～9に示す。なお、表7は相談内容の分類法を示したものであり、全国学生相談研究会の専任カウンセラーが中心になって作成した「学生相談の共通分類」（下山ら、1991）によっている。相談状況の概要は以下のとおりである。

●24年度と比べ実来談者数はほぼ同数、相談回数は増加した。これは、相談内容の「心理性格」に含まれる、発達障害やそれを疑われる学生のサポートや、医療機関につながりにくく、つながっても中断してしまう学生の修学援助が増加し、長い期間面接を必要とするケースが多くなっていることが理由と考えられる。同様に、継続的な見守りが必要な不登校学生の再登校支援といった対応も増えている。

●学年別では4年生（留年生含）の相談の増加傾向が続いている。4年生以上と大学院生の来談者を合わせると全体の40.9%にもなる。主な相談内容は成績不振による留年、就学意欲の減退、卒業修了後の進路での迷い、研究室不適應である。

●教職員からの学生に関する相談や、教職員の勧めで来談する学生の増加傾向も続いている。不適應傾向がみられる学生への教職員の働きかけが多くなってきたことの表れと思われる。教職員の来談者数、のべ来談者数とも24年度より増加している。

●メールや電話は、学生に関して教職員や家族と連絡や連携する際に使用していることがほとんどである。

●教職員の自分自身の問題での来談は16名から22名に増えている。主な相談内容は、24年度と同様に精神疾患と人間関係（ハラスメント含）である。

2) リラクゼーション・スペースの利用

簡易ベット、ボディソニック・チェア、エアロバイク、椅子とテーブルを配置したリラクゼーション・スペースの平成25年度の利用者は220名であった。一般学生の他、学生相談室に来談し対人恐怖的傾向のある学生の一時的な休息場所としても利用されている。

3) 心理テストの利用

学生相談室では就職や進路選択、自己分析の際の一つの資料として利用してもらうために希望する学生に対して心理テストを実施している。行っているのは「YG性格検査」、「東大式エゴグラム」、「VIP職業興味検査」である。25年度は4名の受検者があった。

表1 性別来談者数

性別	来談者数	%
男	148	44.6
女	184	55.4
合 計	332	100.0

表2 学年別来談者数

学年	来談者数	%
1 年 生	65	19.6
2 年 生	41	12.3
3 年 生	53	16.0
4 年 生*	100	30.1
修士課程学生	34	10.2
博士課程学生	2	0.6
教 職 員**	22	6.6
そ の 他	15	4.5
不 明	0	0.0
合 計	332	100.0

*農学部獣医学科5、6年生・留年生を含む

**教職員の学生の件での相談は含まない

表4 来談経路別来談者数
(学生本人来談のみ)

来談経路	来談者数	%
新入生向けパンフレット	19	7.1
ポスター・ウェブ	36	13.4
友人の勧め	11	4.1
センター診療室の勧め	47	17.5
教職員の勧め	17	6.3
家族の勧め	12	4.5
カウンセラーの講義	13	4.9
継続・再来・その他	104	38.8
不 明	9	3.4
合 計	268	100.0

表3 所属別来談者数

所属	来談者数	%
人文社会科学部	62	18.7
教 育 学 部	50	15.1
工 学 部	110	33.1
農 学 部	78	23.5
教 職 員	22	6.6
そ の 他	10	3.0
不 明	0	0.0
合 計	332	100.0

表5 相談形態別のべ来談者数

形態	相談回数	%
面 接	1453	79.3
電 話	186	10.1
電子メール	194	10.6
そ の 他	0	0.0
合 計	1833	100.0

表6 相談対象別のべ来談者数

対象	相談回数	%
本 人*	1524	83.1
教 職 員	209	11.4
家 族	92	5.0
友 人	1	0.1
そ の 他	7	0.4
合 計	1833	100.0

*学生および教職員本人

表7 相談内容の分類

心理性格	心理的問題、性格理解、アイデンティティの確立など、自己の心理状態や性格に関する相談
対人関係	家族関係、友人関係、異性関係等の、対人関係に関する具体的なトラブルについての相談
心身健康	精神疾患、身体疾患への対処などの、心理面あるいは身体面の健康上の問題に関する相談
進路修学	就職、進学、再受験などの進路の問題、あるいは単位や勉強法などの修学上の問題に関する相談
学生生活	サークル活動、アルバイト、悪徳商法等の、学業以外の学生生活上の問題に関する相談

表8 相談内容別来談者数

相談内容	来談者数	%
心 理 性 格	187	56.3
対 人 関 係*	53	16.0
心 身 健 康	17	5.1
進 路 修 学	60	18.1
学 生 生 活	11	3.3
そ の 他	4	1.2
合 計	332	100.0

*ハラスメント相談を含む

表9 相談内容別のべ来談者数

相談内容	相談回数	%
心 理 性 格	1164	63.5
対 人 関 係	192	10.5
心 身 健 康	299	16.3
進 路 修 学	159	8.7
学 生 生 活	15	0.8
そ の 他	4	0.2
合 計	1833	100.0

来談者一人あたりの平均相談時間 48.3分